

講義名	対)研究演習		
講義コード	15402	授業形態	演習
担当教員	山口 泰雄		
開講期・曜日・時限	通年 月曜日 5時限		
備考			

ゼミ
山口泰雄ゼミ
学部
人間社会学部
学科
人間健康学科
演習名
スポーツ・フォー・オール

概要説明
子どもから高齢者、障がい者を含むスポーツの機会と環境づくりを推進する「スポーツ・フォー・オール」に焦点をあて、スポーツの価値や行動、組織を社会科学の視点から、実証的に探究する。特に、わが国では、2019年ラグビーワールドカップ、2021年東京オリンピック・パラリンピック大会、2022年ワールドマスタースゲームズ関西 in JAPANというゴールデン・スポーツイヤーズの開催が連続する。 研究演習 においては、「東京オリンピック・パラリンピック2020」と「ワールドマスタースゲームズ2021」の開催に焦点をあて、学生の主体的なアプローチにより、その内容と意義を理解する。ゼミにおいては、自ら情報・資料を収集し、PPTにまとめたプレゼンを行う。PPT作成技術を高めるための動画挿入なども行う。プレゼンにおいては、質疑の時間を置き、質問に対する丁寧かつ真摯な回答を可能にする。地域スポーツやスポーツのイベントに関するフィールドワークの実施を計画している。フィールドワークは、対象先の準備態勢が必要なことから、日程等に関しては、随時報告する。

学位
Ph.D. (キネシオロジー・学術博士)

教員よりの要望
ゼミは講義ではないことから、スポーツ・フォー・オールや生涯スポーツに対して、普段からの関心を持ち、情報を収集することを求めたい。プレゼンの準備には時間をかけ、事後における強みと弱みに関して講評を行うが、常に自己評価する習慣を身につけること。

教員英字氏名
Yasuo YAMAGUCHI
研究室
5 4 1 6 室
最終学歴
カナダ・ウォータールー大学大学院博士課程修了 (Ph.D. : 学術博士取得)
主な研究活動・社会活動・研究業績
【研究テーマ】 スポーツ社会学、生涯スポーツ論を専攻し、スポーツ参加やスポーツ振興及びスポーツ政策に関する研究を行っている。具体的には、「スポーツとまちづくり」、「スポーツ政策」、「加齢とスポーツ」、「スポーツツーリズム」、などのテーマに取り組んでいる。
【主要著書】 1) 『スポーツ・ボランティアへの招待 - 新しいスポーツ文化の可能性 - 』 編著、世界思想社、 2) 『地域を変えた総合型地域スポーツクラブ』大修館書店、 3) 『健康・スポーツへの招待 - 今日から始めるアクティブ・ライフ - 』 体育施設出版、 4) 『健康・スポーツの社会学』 編著、建帛社、 5) 『生涯スポーツとイベントの社会学 - スポーツによるまちおこし - 』 創文企画、 6) 『レジャーの社会心理学』 共訳、世界思想社、 7) 『生涯スポーツ実践論』 共著、市村出版、 8) 『フィットネス・エクササイズ・トラクター・テキスト』 編著、建帛社、 9) 『観光学ガイドブック』 共著、ナカニシヤ出版、など多数、
【社会的活動】 TAFISA (国際スポーツ・フォー・オール協議会) 理事 (2009-現在)、ASFAA (アジア・オセアニアスポーツ・フォー・オール協会) 理事 (2001-現在)、中央教育審議会 スポーツ・青少年分科会副会長 (2010-2015)、同スポーツ振興特別委員長 (2011-2012)、文部科学省トップアスリートの強化・研究拠点に関する有識者会議座長
主な卒業論文のタイトル
・「スポーツ経験がスポーツ参与に与える影響：「見るスポーツ」と「するスポーツ」の2つの観点から」 ・「スポーツ立国戦略の課題の提起：新聞記事分析と聞き取り調査を用いて」 ・「ラグビートップリーグにおけるファンサービスと観戦意図に関する研究：神戸製鋼ラグビー部のケーススタディ」 ・「スポーツ観戦者におけるウェブサイト利用が観戦意図に及ぼす影響に関する研究 : b) リーグのケーススタディ」 ・「i) グラブへのチーム・アイデンティフィケーションと地域愛着に関する研究：神戸市在住の大学生を対象に」 ・「スポーツ・コミットメントの規定要因に関する研究：大学生におけるケーススタディ」 ・「大学登山者の分類に関する研究：知覚価値に着目して」 ・「中年ランナーの自主的な運動の継続要因」 ・「高齢者の運動ステージが生活満足度に及ぼす影響に関する質的研究：神戸市シルバーカレッジのケーススタディ」 ・「独立リーグ観戦者の観戦動機と類型化：四国アイランドリーグplusの観戦者に着目して」 ・「マスタース陸上競技選手における競技継続要因に関する研究」 ・「青少年におけるスポーツ制作の政策評価に関する一考察：「地域スポーツとトップスポーツの高循環推進プロジェクト」に着目して」 ・「サッカー参加が地域愛着に及ぼす影響に関する研究：「するスポーツ」と「みるスポーツ」に着目し
趣味・特技
趣味は、テニス、ローンボウルズ、読書。
所属
流通科学大学人間社会学部人間健康学科。
所属学会
・国際スポーツ社会学会 ・日本スポーツ社会学会 (顧問) ・日本生涯スポーツ学会 (顧問) ・日本体育学会・体育社会学専門領域代表
専門分野
スポーツ社会学、生涯スポーツ論、スポーツビジネス。
選考方法
担当科目
スポーツビジネス論、スポーツ文化論、スポーツ組織論、健康・スポーツ関連企業分析、スポーツ施設マネジメント、業界研究、専門基礎演習、研究演習 ・ 、卒業研究、人間健康学科へのいさない。
備考
評価方法
プレゼン (30%) 、レポート (30%) 、出席・受講態度・リーダーシップ (40%)
実務経験の有無及び活用
市民マラソンの運営、社会調査の実施と分析、ジュニアスポーツリーダー講習会および高齢者スポーツイベントの運営など。